



エコトピア通信 No. 010 [2014/11/04号]

発行：名古屋大学 エコトピア科学研究所



「

## ■ 1. イベントスケジュール

」

### ●エコトピア科学シンポジウム

市民公開講座「安全・安心の電力供給システムに向けて」

日 時／11月22日（土）13：00～15：50

場 所／名古屋大学 野依記念学術交流会 2階 カンファレンスホール

対 象／どなたでも

申込み／不要

<http://www.esi.nagoya-u.ac.jp/index.html>

「

## ■ 2. トピックス [新着情報]

」

### ●『EcoTopia News Vol. 20』を発行しました。(2014. 9. 30)

《巻頭》所長 田中信夫「新しい研究所に向けて」

《記1》環境結触媒における気象金属元素とナノ粒子材料の創製の研究

教授 小澤正邦

《記2》炭化物熱分解によるエピタキシャルグラフェン

教授 楠美智子, 助教 乗松 航

《記3》役に立つ素粒子物理学？

～原子核乾板を用いた $\mu$ 粒子ラジオグラフィ～

教授 中村光廣

などの内容です。

<http://www.esi.nagoya-u.ac.jp/syupan/index.html>

### ●『H25年度 活動報告書』を発行しました。(2014. 10. 10)

エコトピア科学研究所の、一年間の活動記録集です。

ご覧になりたい方は、研究所事務部までご依頼ください。

●ホームカミングデー（2014. 10. 18）にて

・「超高圧電子顕微鏡ツアー」を開催しました。

<http://hvem.nagoya-microscopy.jp/>

・研究所の紹介ブースを設け、研究紹介、パネル展示を行いました。

---

■ 3. 教員紹介

---

平成 26 年度に研究所のメンバーとなった新任教員から、お二方をご紹介します。

●グリーンマテリアル部門

助教 桑原真人（田中研究室）

平成 26 年 4 月付にて助教に着任いたしました桑原真人と申します。

スピン偏極パルス電子線を透過型電子顕微鏡に応用した先端分析装置の研究に着手しております。狭線幅電子線生成やその高いコヒーレンスを利用して、超高速時間分解測定の実現による過渡現象の研究、電子線ホログラフィの活用によるスピン量子状態の解明やスピントロニクスデバイスへの応用を行っていきたいと思っております。今後とも宜しく願いたします。

●グリーンマテリアル部門

助教 林幸彦朗（余語研究室）

平成 26 年 5 月 16 日付で、徳島大学医学部より当研究所に着任致しました林幸彦朗と申します。

工学部と医学部に所属していた経験を活かし、ナノ粒子を用いた診断・治療に関する研究を行っています。現在、医工の異分野融合が進められていますが、分野を超えた連携は難しいという現状があります。これまでの経験を活かし、医工 連携の促進に貢献できるよう努力したいと考えております。皆様のご鞭撻、ご支援、宜しくお願い申し上げます。

---

■ 4. 事務局だより

---

初秋の雨上がり。構内で、ドングリが大量にごろごろと落ちているのを見つけました。思わず携帯で写真を撮り、始めたばかりの facebook にアップすると、なんと、イ

ンドにいる同級生から 30 年ぶりの連絡がありました。しかも「その写真を撮った場所はグランドへと続く坂道？」と言い当てたのです。

1 枚の画像から広がる世界、与えるインパクトは本当に大きな力があると改めて感じ、そんなことも胸に刻みつつ、広報誌作りに勤しまねばと思うこの頃です。

---

■ 5. 事務局からのお知らせ

---

●メール通信（無料）の配信について

本メール通信は、学内関係者や研究所の行事に参加された方に、年 4 回程度の予定でお送りしています。配信停止または配信先メールアドレス変更をご希望の際は、お手数ですが下記事務局までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

名古屋大学 エコトピア科学研究所広報委員会

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

TEL : 052-747-6758 FAX : 052-747-6313

Email : [eco-maga@esi.nagoya-u.ac.jp](mailto:eco-maga@esi.nagoya-u.ac.jp)

URL : <http://www.esi.nagoya-u.ac.jp>

\*\*\*\*\*